

# あいち農産物生産流通レポート

平成 2 1 年 4 月号

情報サロン		
・農産物ブランド化の取組について	-----	1
	(食育推進課)	
地域トピックス		
・幸田町道の駅「筆柿の里・幸田」がオープンします	-----	3
	(西三河農林水産事務所)	
東日本情報		
・北の大地での農産物販売	-----	4
	(東京事務所)	
西日本情報		
・農業高校生が食育実践活動を行いました	-----	6
	(食育推進課)	
フラワーページ		
・「ホワイトデーにはカラーを贈ろう!!」キャンペーン について	-----	8
	(東京事務所)	
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	-----	9
・名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し	-----	10
花 き		
・切花・鉢花の4月の見通し(県内市場)	-----	16
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2009年1月)	-----	20
関連指数	-----	21

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

## 農産物ブランド化の取組について

農業を取り巻く環境は、景気の低迷を受け、販売価格の恒常的な低迷、消費の冷え込みなどにより急激に悪化しており、こうした環境に負けない足腰の強い産地づくりを進めて行くことが急務となっています。

現代マーケティングの第一人者として知られるフィリップ・コトラーがその著書で「もし、提供しているものがブランドでなければ、それはコモディティ(何の差別性も打ち出せない一般的な商品：市場に流通している商品がメーカーごとの個性を失い、消費者にとっては何処のメーカーの品を購入しても大差ない状態のもの)にしか過ぎない。そして、コモディティの世界では価格こそが全てであり、低コストの生産者が唯一の勝者となる。」と語っています。農業分野においても例外ではなく、今後、選択する道は、ブランディングによるプレミアム化の道か、終わりのない低価格競争の道しかないといっても過言ではありません。

このため、本県産農産物に対する流通関係者を含めたお客様の満足度と信頼を高め、安定的かつ有利な販売の実現に向けたブランド化の取組として、「JA あいち経済連と県が連携し、愛知県農産物ブランド化推進協議会(以下「協議会」という。)を組織し、様々な活動を行っているところです。この協議会の取組について概要を紹介します。

この協議会は、愛知産農産物に対する消費者、実需者の満足度と信頼を高め、県内の生産者・生産者団体等の生産、出荷の意欲向上と産地の持続的発展に資することを目的に、平成20年度より、平成24年度を目標年度と設定し、その5年間の取組事項を品目別に定め取り組んでいるところで、次表は、重点的に取り組んでいく「いちご」を始め8品目についての「重点目標」と平成20年度の主な取組についてまとめたものです。

このような取組を通じて、本県産の農産物であれば「必ず大丈夫だ」というお客様の期待を裏切らない安心感、そしてメリットがあるようなブランド品を一つでも多く作っていきたいと思います。

## 重点目標と平成20年度の主な取組について

品 目	重 点 目 標	主 な 取 組
い ち ご	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 複数品種の組合せによる愛知県産いちごロットの拡大と長期安定出荷。</li> <li>● 本県のオリジナル品種「ゆめのか」の市場性の向上。</li> <li>● 「あいちのいちご」強化月間を策定し、「あいちのいちご」の消費拡大を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出荷先の再編</li> <li>● 2農協で紅ほっぺ統一規格</li> <li>● あいちのいちごフェアの開催</li> <li>● 「ゆめのか」NOW会議の開催</li> <li>● 受験生応援フェアの開催</li> </ul>
いちじく	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高品質・省力化栽培の徹底を図り、全国のトップ産地としての市場優位性の維持・向上。</li> <li>● 出荷量の増大と安定化のための産地づくり。</li> <li>● 新たな需要喚起のための市場開拓。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いちじくソースの開発</li> <li>● 下級品販売対策の実施</li> <li>● 新規栽培者募集・講習の実施</li> <li>● 苗木増殖の実施</li> <li>● ハウスの少量化の確認</li> </ul>
輪 ぎ く	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国産の優位性を生かす宣伝・営業活動の実施。</li> <li>● 本県のオリジナル品種の開発と市場拡大。</li> <li>● ホームユース等の新たな需要の拡大。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪菊部会組織力・販売力強化案の策定と組織協議の実施</li> <li>● 新品种の登録候補を決定</li> <li>● 満開咲き輪菊の試験販売と評価調査の実施</li> </ul>
デルフィニウム	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本県産の認知度向上。</li> <li>● 顧客との結びつきの強化。</li> <li>● 高品質、安定生産の拡大。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デルフィニウム交流会を開催し認知度向上を図った。</li> <li>● 契約販売先との消費宣伝会の実施</li> </ul>
あいち牛	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 肉質向上と生産量の拡大。</li> <li>● 交雑種としての評価を確立。</li> <li>● 顧客との結びつきの強化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● あいち牛認定頭数の増加</li> <li>● 共励会の開催</li> <li>● ポスターの作成</li> </ul>
みかわ牛	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 肉質向上と生産量の拡大。</li> <li>● 地元での和牛としての認知度向上。</li> <li>● 顧客との結びつきの強化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● みかわ牛認定頭数の増加</li> <li>● 共励会の開催</li> <li>● 生産者勉強会の開催</li> </ul>
みかわポーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 純愛知県産の新「みかわポーク」の認知度向上。</li> <li>● 新たな肉質基準を満たす産地づくり。</li> <li>● イベント等による宣伝・営業活動の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アイリスナガラ導入推進</li> <li>● みかわポーク発足20周年記念式典の開催</li> <li>● ホームページでの生産者紹介</li> <li>● 関係車両シンボルマーク掲示</li> </ul>
あいちのかおり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他品種からの作付転換による生産、出荷量の向上。</li> <li>● 単一品種での販売拡大。</li> <li>● 収穫の長期化による安定供給。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集荷実績のアップ</li> <li>● 学校給食への供給継続</li> <li>● 不耕起V溝直播面積の増加</li> </ul>

## 幸田町道の駅「筆柿の里・幸田」がオープンします

平成21年4月4日(土)、国道23号線(岡崎バイパス)沿いの幸田町大字須美・桐山に、道の駅「筆柿の里・幸田」がオープンします。道の駅は、幸田町の特産物の筆柿と豊かな自然にちなみ「筆柿の里・幸田」と名付けられました。

道の駅に隣接して地域振興施設が建設され、幸田町の地元農産物等を販売する直売所と食堂が設けられます。この施設は、幸田町南部地域の生産者の農産物の販売と地産地消の推進を図るための拠点施設として、幸田町が強い農業づくり事業を活用して整備したものです。産地直売施設として農産物を販売することにより、小規模生産者の生産意欲の向上と農業所得の増大を図るとともに、農産物の作付拡大による耕作放棄地の解消や、消費者の要望に応えた顔の見える地産地消の推進を図ることを目的としています。

この施設の整備と併せて、地元農家を中心とした組織、合同会社「筆柿の里幸田」が組織され、施設の運営を行います。年間販売見込額は1億2100万円、うち地元産農産物は8,165万円で、野菜、果物、筍、菌茸類、切り花、苗物等222トンの販売を見込んでいます。地元生産者等による施設運営で、より新鮮で安全・安心な農産物の供給体制が整備され、顔の見える地産地消の推進が期待できます。

新施設のオープンに併せて、4月の4日(土)、5日(日)には、オープニングイベントの開催が予定されています。これからの行楽シーズンでお出かけの際は、是非お立寄り下さい。



建設中の施設全景



道の駅側から見た地域振興施設

## 北の大地での農産物販売

北海道は農産物の一大生産地であるが、冬場は消費地となる。愛知県からは主にキャベツ、大葉などの野菜やキク、バラ、カーネーションの花きが出荷されている。北海道では、愛知産農産物は高品質と認識されており、冬期の重要な青果物供給地の1つとなっている。

最近の札幌市場における愛知県産農産物の動向について、丸果札幌青果（青果物）および札幌花き園芸（花き）から聞き取ったので紹介する。

### 1 青果物の流通について（丸果札幌青果）

札幌市中央卸売市場（以下札幌市場）での平成20年の本県産青果物取扱高は都道府県別には5位であり、販売量4,770t（シェア2%）、販売金額約10億円（同2.5%）が入荷している。

札幌市場での愛知県産の野菜入荷量は、5年前の平成15年と比較すると84%に減少している。

品目別にみると、キャベツ（3.6%）、にんじん（19.8%）は増加している。しかし、はくさいは27%と大幅に減少しており、これは、平成17年4月出荷をもって\*冬野菜流通対策確立促進事業が終了し、出荷者に対する集荷協力金がなくなった影響が考えられる。



#### 【札幌市場の特徴と愛知県産の動向】

- ・ 相対取引よりセリによる取引の方が大きな割合を占めている。道内産の7割、府県産の4割がセリによる販売で、全国的にも高い水準にある。
- ・ 近年、暖冬の影響から道産の雪中貯蔵キャベツの品質が悪い年がたびたびあり、愛知産冬系キャベツの取扱が増えている（以前は春系のみ）。関東産の春系は変色が早く、品質的には愛知県産が上である。
- ・ 大葉の販売金額は、最盛期（H11）の3.2億円から2.2億円（H20）と激減している。入荷数量は変わらないが販売単価が安くなっているためである。

- ・ トマトでは、JA ひまわりの「王様のミニ」が今年から入荷している。北海道でのレギュラー規格は 150 g パックが主体であり、「王様のミニ」の出荷規格は 200 g パックである。この規格では、小売値の設定が1パック当たり198円と高くなり、3 kg バラで出荷してもらっている。また、「ハニーレッド」(JA ひまわり)は、ミニトマトのトップブランドとして評価されている。
- ・ ブロッコリーは、今年度から JR のクールコンテナで出荷してもらっている。以前のような他品目との混載のトラック便では荷傷みが出やすいが、クールコンテナは荷傷みがほとんどなく、安心して販売できる。

## 2 花き流通について(札幌花き園芸)



札幌において愛知県産花きはなくてはならない存在で、花き類の販売金額の19% (平成19年)を占めている。

輸送については、冬期の入荷量の9割は飛行機に依存している。しかし、大雪の影響で千歳空港が閉鎖となることが何度かある。愛知県産(渥美)のキクはJRのクールコンテナと空路で出荷してもらっている。しかし、トラック便の方が温度管理しやすく、荷傷みが

少ないので、現在本州からの輸送方法を再検討している。

札幌は、1人当たりの花の消費額は東京とほぼ同額の約1万円で、花消費の多い地域である。消費の特徴として、冬は外が雪で覆われているため仏花の需要は少ないが、鮮やかな色彩の花がギフト用として使われる。また、花祭壇も元々は札幌で始まったものが、全国へと広がったと言われており、花消費の先進地として、工夫によって新たな需要を掘り起こすことができる。

卸売業者としては、こちらからもっと消費動向を生産者(産地)へ伝えていかななくてはならないと考えている。すなわち市場は物流基地であるよりも、消費地の情報を生産者へ伝えることが重要な役割の1つだと思っている。消費者へは「1,000円で1か月花のある生活」などのプロモーションを行い、リピーターをつくることも大切だと考えている。

また、新たな販路として、北海道から一番近い国であるロシアを考えている。ロシアでは男性でも頻繁に花を購入する習慣があり、年間2万円は花を消費する。将来の有望な市場になりうると考えている。

**\*冬野菜流通対策確立促進事業費補助金**：北海道の冬期間における野菜確保と道内消費地への安定供給のため、北海道が(社)北海道市場協会を通じ県連など出荷者へ出荷協力金を交付する事業。毎年1~4月に出荷されるはくさい、キャベツ、だいこんの野菜3品目が対象で、1t当たり、札幌：4,500円、地方：5,000円が支払われた。

農業高校生が食育実践活動を行いました！

農業高校が持っている田んぼや畑などの資源を活用して、農業高校生が地域の園児や小学生などに食育実践活動を行う「農業高校生ぼくらの食育応援活動事業」を県内7つの農業高校で実施しました。

農業高校生は、基礎知識勉強会で食育について学び、それを基にして稲作や野菜づくりといった生産体験の指導や収穫物を使った料理体験などを行いました。



新城高校 基礎知識勉強会



半田農業高校 田植え



佐屋高校 アイガモを放す（アイガモ農法）



稲沢高校 だいこん間引き



渥美農業高校 さつまいも収穫



猿投農林高校 さつまいも収穫



新城高校 にんじん収穫



半田農業高校 稲刈り

【参加者の感想】

「すごくおいしかったね。にんじんにがてだったけど、たべれるようになったよ。」

「私たちはおいしいお米を食べることができました。農林高校の生徒さんや先生たちが一生懸命育ててくれたからだと思います。」

【生徒の感想】

「小さい子も一緒に頑張ってくれた。もっとたくさんこのような楽しい交流を増やして農業の理解を深めたい。」

「みんなパクパクと食べていて、こんなにおいしく食べてくれるのなら、作った甲斐があったと思いました。この交流をいかして物を作る楽しさが、たくさんの子に伝わってほしいと思いました。」



安城農林高校 つきたての餅を試食

地域の子どもたちには、農作物をつくる体験を通じて食べ物を作ってくれる人たちへの感謝の気持ちや食べ物を大切にする心が育まれ、また高校生たちも食べ物を作る喜びを伝えることで農業の理解につなげたいという気持ちを強く持ちました。

「農業高校生ぼくらの食育応援活動事業」実践活動の内容一覧

活動高校	実践活動の主な内容
稲沢高校	春野菜、秋野菜の生産体験
佐屋高校	アイガモ農法及び古代米による稲作体験
半田農業高校	稲作体験
安城農林高校	稲作体験
猿投農林高校	サツマイモ栽培体験
新城高校	サツマイモ・トウモロコシ・ニンジンの栽培体験、お茶の摘み取り
渥美農業高校	サツマイモ栽培体験

## 「ホワイトデーにはカラーを贈ろう！！」 キャンペーンについて

- 新たな花き需要の創出 -

3月14日のホワイトデーを前にして、東京都内随所の花き販売店で、「ホワイトデーにはカラーの花を贈ろう」とカラーが店頭を飾りました。このプロモーション(販売促進)は、まだ一般消費者にはあまり浸透していませんが、新たな需要を開拓する試みとして花き流通業界から注目されています。

そもそもこのキャンペーンは、当初、熊本県花き研究会(熊本県、熊本経済連、京浜主要花き卸売業者)が3月から5月にかけて出荷量が増加する時期の対策の1つとして、熊本県のアンテナショップがある銀座で3年前に始めました。当初は近くの飲食店にカラーを飾ってもらうだけの小さな試みでした。このことを知った千葉県の生産者が自分たちの産地も参加し、全国規模へ広げようという願いがこのプロモーションの発端となりました。



昨年11月に千葉県木更津市のかずさアカデミアホールで「全国カラー生産者大会」(主



催：君津市農業協同組合)が初めて開催され、全国の生産者、市場関係者、小売店などが集い(愛知県内からも生産者や関係者が出席)、カラーの消費拡大のため「ホワイトデーにはカラーの花を贈ろう」キャンペーンの促進が決議され生産者と流通業者が組んだプロモーションとなりました。

湿地性のカラーは農薬の使用量も比較的少なく、ほぼ無肥料で生産できるので、今後は「環境に優しい」ことを消費者へアピールすることも重要です。こうした、プロモーションを生産者サイドだけでなく業界全体で行っていくことが大切で、今後はホワイトデーだけでなく、花の消費拡大のため、一般消費者へ浸透させる試みを続けることが大切です。

# 愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

## 名古屋市中央卸売市場(品目:チンゲンサイ)

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	107	64 (60%)	246	225	静岡 (40%)
21年見通し	110	55	250	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>ハウス栽培で周年出荷だが、3月~4月にピークを迎える。2月の暖冬の影響で生育が良く、2Lなど大きめのものが多い。前進傾向で生育が早い、谷間なく作付しており、入荷が不安定になることはないであろう。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>			<p>チンゲンサイは食味にくせがなく、どんな料理にもあう食材であるが、ほうれんそうや小松菜等の需要に左右される面がある。</p> <p>今後の消費拡大のためには、葉と軸のコントラストを中華料理等の彩り素材としてPRしたり、茹でて破れにくい特質を活かした料理法を提案するなどの工夫をするとよい。</p>		

## 東京都中央卸売市場(品目:さやえんどう)

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	296	110 (37%)	872	920	鹿児島 (16%) 静岡 (11%) ベトナム (11%)
21年見通し	280	-	900	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知からの入荷が多く、鹿児島、静岡がこれに続く。愛知の生育は気温が高く順調で切り上がり及早まる見込み。鹿児島も好天続きで生育が前進したため残量少ない。静岡の生育も概ね順調である。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>			<p>さやえんどうは、春のイメージが強い商材である。量販店も節句ごとに売り込みをかけている。国産指向も強まり国内産地には追い風となっている。</p> <p>現状、本県産は味も良く、品質には問題がないのでロットの増加が望まれる。今後気温の上昇による品質低下が懸念されるので、品質管理には十分努めて欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し

名古屋中央卸売市場

3月16日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	16年	41,819	179	201	176	164	愛知 28%
	17年	39,291	195	198	195	193	北海道 14%
	18年	36,838	209	202	208	217	鹿児島 9%
	19年	37,003	192	189	193	195	茨城 7%
	20年	36,471	205	205	201	208	
	5ヵ年平均	38,284	196	-	-	-	
計	21年見通し	35,600	200	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
地元愛知と、土物類を中心に北海道、鹿児島を主力に入荷する。2月の高温の影響で前進傾向の品目と、3月の天候不順で入荷が不安定な品目がある。入荷量、価格ともに、前年をわずかに下回る見込み。							
だいこん	16年	2,546	92	120	93	67	愛知 62%
	17年	2,474	101	114	111	83	千葉 26%
	18年	2,323	106	119	111	90	鹿児島 5%
	19年	2,054	85	82	89	85	茨城 3%
	20年	2,390	80	80	88	73	
	5ヵ年平均	2,357	93	103	98	80	
計	21年見通し	2,300	80	90	80	70	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に、千葉、鹿児島などから入荷する。愛知は、2月の高温の影響で前進傾向で作柄も良好。千葉の生育も順調で安定した入荷を見込む。入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年並みの見込み。							
にんじん	16年	2,321	137	112	140	160	徳島 89%
	17年	2,750	179	194	193	157	愛知 5%
	18年	2,089	193	154	230	196	熊本 3%
	19年	2,223	120	103	112	150	台湾 2%
	20年	2,350	209	209	236	187	
	5ヵ年平均	2,346	168	154	182	170	
計	21年見通し	2,200	180	190	180	170	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、鹿児島中心の入荷から、徳島中心の入荷へと切り替わる。各産地とも生育は順調で、安定的な入荷で推移するであろう。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

3月23日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	16年	141,829	202	221	199	185	千葉 15%
	17年	136,583	221	229	219	216	茨城 14%
	18年	126,162	236	227	239	243	北海道 9%
	19年	126,043	219	221	214	223	神奈川 7%
	20年	134,636	229	233	227	228	(愛知産比率 7%)
	5ヵ年平均	133,051	221	226	220	219	
計	21年見通し	130,000	220	230	230	220	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に続き関東産地からの入荷が中心となる。北海道からの土物類についてはほぼ終了。2月の天候不順の影響から病害が散見されるも、生育は概ね順調に推移している。入荷量は前年をやや下回り、価格も前年をやや下回る見込み。							
だいこん	16年	10,642	93	120	91	68	千葉 85%
	17年	10,724	98	101	110	85	神奈川 7%
	18年	11,226	99	107	102	85	茨城 6%
	19年	9,209	91	79	99	96	埼玉 1%
	20年	10,661	83	78	89	80	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	10,492	93	97	98	83	
計	21年見通し	10,500	80	80	80	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に引き続き関東産地からの入荷が中心となる。千葉は暖冬の影響から前進化傾向。品質も病害の発生もなく良好。神奈川の生育も順調である。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。							
にんじん	16年	7,387	136	99	144	169	徳島 78%
	17年	8,008	178	190	187	163	静岡 4%
	18年	6,842	190	151	218	196	千葉 4%
	19年	7,330	124	105	120	150	台湾 4%
	20年	7,844	211	211	229	196	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,482	168	151	229	196	
計	21年見通し	8,000	170	165	170	170	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
徳島からの入荷が中心となる。徳島の生育は順調であり、入荷は多かった前年並なる見込み。静岡の入荷も始まる。生育は順調である。入荷量は多かった前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
はくさい	16年	2,450	78	100	71	64	茨城 41% 長崎 17% 愛知 17% 長野 13%
	17年	2,485	76	85	71	72	
	18年	2,395	95	80	91	111	
	19年	2,282	75	73	73	80	
	20年	2,367	93	102	94	83	
	5ヵ年平均	2,396	83	88	80	82	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,300	80	90	80	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、長崎、愛知、長野など多産地から入荷する。愛知は減少傾向だが、他の産地は前年並みの入荷となるであろう。各産地とも生育は順調。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
キャベツ	16年	3,651	76	78	77	74	愛知 72% 兵庫 8% 神奈川 8% 三重 6%
	17年	3,373	114	116	111	115	
	18年	3,376	110	98	99	137	
	19年	3,303	95	89	93	103	
	20年	3,695	83	87	76	87	
	5ヵ年平均	3,479	95	94	91	103	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	3,400	85	85	80	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に、神奈川、兵庫、三重などから入荷する。愛知の冬系は大玉。下旬より減少し、冷蔵ものに移行する。春系はやや前進傾向。兵庫も、例年より1週間ほど早く入荷が始まるであろう。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	16年	440	296	293	277	325	愛知 77% 岐阜 13% 福岡 2% 群馬 2%
	17年	391	334	344	309	349	
	18年	345	380	321	382	487	
	19年	343	376	371	379	379	
	20年	304	405	464	318	448	
	5ヵ年平均	365	353	359	333	398	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	330	370	300	350	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を主体に、一部岐阜などからも入荷する。愛知の生育はますますだが、病気が発生している産地もあり、入荷が不安定となる懸念がある。岐阜は暖冬の影響でやや前進傾向。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
はくさい	16年	7,097	65	99	49	42	茨城 93% 兵庫 2% 長崎 2% 千葉 2%
	17年	6,937	62	79	58	49	
	18年	6,565	81	82	73	89	
	19年	5,668	59	60	57	59	
	20年	5,718	89	106	89	71	
	5ヵ年平均	6,397	71	85	65	62	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	5,500	80	90	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となる。茨城は春はくさいに切り替わる。降雨・低温で生育は停滞気味。畑によるパツキも見られ、量的には前年を下回る産地もある。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
キャベツ	16年	17,992	79	89	84	66	神奈川 45% 愛知 35% 千葉 15% 茨城 3%
	17年	17,182	114	126	114	104	
	18年	16,077	123	123	116	131	
	19年	16,071	96	100	91	98	
	20年	18,140	91	97	89	89	
	5ヵ年平均	17,092	100	107	99	98	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	17,500	85	85	90	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知からの入荷が減少し神奈川からの入荷が多くなる。神奈川の生育は前進化傾向だが、菌核病なども散見される。愛知の生育は順調。千葉も生育順調だが品質は一部で病害散見されるが概ね良好。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	16年	1,650	400	385	410	407	埼玉 28% 茨城 25% 群馬 24% 千葉 12%
	17年	1,608	380	387	339	416	
	18年	1,408	454	413	455	498	
	19年	1,405	409	400	422	403	
	20年	1,287	470	516	416	482	
	5ヵ年平均	1,472	420	420	408	441	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,300	470	470	470	470	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。埼玉の生育は2月の天候不順による遅れからも回復して概ね順調である。茨城の生育も順調。群馬も順調な生育が見込まれる。入荷量は前年並みで、価格も前年並みとなる見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

「ねぎ」の数値には「こねぎ」を含む。

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	850	287	289	301	愛知 32%	
	17年	829	258	263	283	大分 19%	
	18年	758	296	292	322	埼玉 11%	
	19年	806	271	266	298	鳥取 9%	
	20年	829	409	413	405		
	5ヵ年平均	814	304	304	322		
21年見通し	800	300	300	300	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に大分、鳥取、静岡などから入荷する。愛知は長ねぎで、生産も需要も減少する時期となる。他の産地は白ねぎ。鳥取は春系。静岡は減少するが、大分は増量の見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。							
レタス	16年	1,906	182	160	160	兵庫 52%	
	17年	2,017	184	170	190	茨城 37%	
	18年	2,105	182	163	223	愛知 5%	
	19年	1,882	254	258	290	長野 4%	
	20年	1,964	172	184	165		
	5ヵ年平均	1,975	194	196	183	206	
21年見通し	1,900	180	190	180	170	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
兵庫、茨城を中心に、一部、愛知などから入荷する。茨城は、作付面積が減少している。全体的に大玉傾向。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年をやや上回るものの、例年よりはかなり安い見込み。							
きゅうり	16年	2,258	155	189	138	143	愛知 44%
	17年	1,976	173	191	160	171	高知 17%
	18年	1,593	258	202	287	289	群馬 14%
	19年	1,658	234	247	233	222	宮崎 14%
	20年	1,759	241	230	233	259	
	5ヵ年平均	1,849	207	212	210	217	
21年見通し	1,700	230	240	230	220	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知を主力に群馬、高知、宮崎などから入荷する。愛知、西南暖地の長期作型のものは、終盤のため樹勢も弱まり、多くの入荷は見込めない。関東産地は生育順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	4,293	232	227	248	222	千葉 47%
	17年	4,377	210	199	221	209	埼玉 33%
	18年	4,019	247	216	283	237	茨城 10%
	19年	3,895	217	211	203	240	栃木 4%
	20年	4,142	366	356	387	356	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,145	254	242	268	253	
21年見通し	4,200	200	170	190	200	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に引き続き関東産地からの入荷が中心となる。千葉は暖冬の影響で前進化傾向。品質も一部病害も散見されるが概ね良好である。埼玉は多雨と高温で病害が発生し今後の生育が懸念される。 入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。							
レタス	16年	7,938	170	212	148	149	茨城 64%
	17年	7,822	174	180	161	181	兵庫 11%
	18年	7,205	164	148	153	194	香川 11%
	19年	6,295	241	204	254	273	栃木 5%
	20年	7,421	160	166	155	159	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,336	180	182	174	191	
21年見通し	7,200	180	190	180	180	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城からの入荷が増えてくる。茨城の生育は概ね順調。肥大も良好である。兵庫の生育も高温と適雨に恵まれ概ね順調である。香川の生育も順調で、春レタスの入荷が本格化する。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格はかなり上回る見込み。							
きゅうり	16年	7,919	174	202	166	154	埼玉 33%
	17年	7,827	196	217	180	194	群馬 22%
	18年	6,587	281	232	328	284	茨城 14%
	19年	6,317	255	291	240	232	千葉 14%
	20年	6,673	263	246	260	283	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,065	230	238	235	229	
21年見通し	6,600	260	300	260	260	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
関東産地からの入荷が中心となる。埼玉の生育は概ね順調だが、日照不足の影響が懸念される。群馬は曇雨天が続く草勢がやや弱い。茨城生育は順調である。 入荷量は前年並みで、価格も前年並みとなる見込み。							

名古屋中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
なす	16年	1,186	252	286	263	215	愛知 52%
	17年	1,219	266	286	266	254	熊本 43%
	18年	922	308	277	311	337	高知 4%
	19年	1,057	295	289	289	309	鹿児島 1%
	20年	1,139	276	279	256	292	
	5ヵ年平均	1,105	278	283	277	281	
	21年見通し	1,100	290	290	280	300	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を中心に、高知などから入荷する。愛知は千両、熊本は長なす。気温の上昇に伴い、高品質のものが安定的に出回るであろう。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
トマト	16年	1,582	265	315	234	249	愛知 38%
	17年	1,404	343	365	345	326	熊本 32%
	18年	1,236	374	378	377	367	三重 16%
	19年	1,406	352	403	342	313	岐阜 11%
	20年	1,403	334	349	359	303	
	5ヵ年平均	1,406	331	362	331	312	
	21年見通し	1,400	350	380	350	320	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に熊本、三重、岐阜などから入荷する。3月の降雨や天候不順の影響で、多くの入荷は期待できないであろう。 入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ミニトマト	16年	331	473	531	455	441	愛知 48%
	17年	314	621	645	633	598	熊本 44%
	18年	253	680	625	713	702	和歌山 6%
	19年	310	595	660	579	551	
	20年	302	620	657	629	587	
	5ヵ年平均	302	593	624	602	576	
	21年見通し	300	620	650	630	600	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を中心に、一部和歌山などから入荷する。3月の降雨により、各産地とも上旬は入荷が少なめだが、中旬は回復するであろう。 入荷量は前年並みで、価格は前年同様に例年をやや上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
なす	16年	4,838	276	322	280	237	高知 51%
	17年	4,561	306	319	292	300	福岡 21%
	18年	3,637	342	324	344	358	群馬 7%
	19年	3,689	328	307	323	361	佐賀 5%
	20年	4,063	310	310	308	313	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,158	310	316	309	314	
	21年見通し	3,900	320	340	320	320	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷が中心となる。高知は気温の上昇とともに2月の天候不順の影響からも回復する見込み。作付面積の減少から量的には減少見込み。福岡の生育も日照不足によりやや遅れ気味。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
トマト	16年	8,395	274	336	242	251	熊本 20%
	17年	7,250	358	387	350	343	栃木 20%
	18年	5,983	396	390	400	396	愛知 12%
	19年	6,370	391	432	378	359	千葉 9%
	20年	6,794	378	413	396	337	(愛知産比率 12%)
	5ヵ年平均	6,958	354	392	353	337	
	21年見通し	6,600	380	390	380	370	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>全国各産地の競合期。熊本は生育は概ね順調だが2月の曇雨天の影響で病害も散見され、やや小玉傾向。栃木の生育は概ね順調で肥大も良好。愛知は天候不順の影響で生育が遅れ気味。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
ミニトマト	16年	1,273	431	480	410	402	愛知 32%
	17年	1,154	572	574	578	567	熊本 27%
	18年	920	690	616	415	335	千葉 11%
	19年	1,215	564	639	545	510	宮崎 9%
	20年	1,115	602	627	600	584	(愛知産比率 32%)
	5ヵ年平均	1,135	564	587	570	560	
	21年見通し	1,100	600	630	600	600	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き愛知、熊本からの入荷が中心となる。愛知の生育は概ね順調であり入荷量は徐々に増えてくる見込み。熊本を始めとする西南暖地についても生育は概ね順調である。 入荷量は前年並みで、価格も前年並みとなる見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
ピーマン	16年	873	231	262	221	211	宮崎 39%	
	17年	812	336	377	308	328	鹿児島 36%	
	18年	661	384	363	363	433	高知 23%	
	19年	690	340	355	334	331		
	20年	646	365	341	346	410		
	5ヵ年平均	736	325	340	314	343	(愛知産比率 0%)	
	21年見通し	650	350	370	350	330	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、鹿児島、高知等の西南暖地からの入荷が中心となる。各産地とも作付面積が10%以上減少しているため、全体として少なめではあるものの、安定した入荷となるであろう。入荷量は前年並みで、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>						
ばれいしよ	16年	5,263	155	188	152	138	鹿児島 75%	
	17年	2,988	189	182	163	218	北海道 22%	
	18年	4,722	146	154	148	137	長崎 3%	
	19年	4,254	133	145	136	119		
	20年	3,064	159	138	168	170		
	5ヵ年平均	4,058	154	161	153	156	(愛知産比率 0%)	
	21年見通し	3,000	160	160	160	160	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島を中心に、北海道、長崎から入荷する。鹿児島は、上旬で離島のものが終了し、本土のものが増えてくる。北海道は計画出荷で安定的。長崎は下旬から入荷が始まるであろう。入荷量は、少なかった前年をさらに下回るものの、価格は前年並みの見込み。</p>						
たまねぎ	16年	7,214	80	93	83	70	北海道 66%	
	17年	6,901	95	94	106	87	愛知 28%	
	18年	5,670	96	100	98	89	熊本 2%	
	19年	6,678	69	75	67	64	静岡 2%	
	20年	5,878	73	77	74	68		
	5ヵ年平均	6,468	82	88	86	76	(愛知産比率 2%)	
	21年見通し	6,000	77	80	77	74	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に愛知、熊本、静岡などから入荷する。愛知の新たなねぎが増えてくるほか、熊本がスタートする。生育は順調。入荷量は少なかった前年をわずかに上回り、価格は安かった前年をやや上回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
ピーマン	16年	2,525	251	280	243	230	茨城 55%	
	17年	2,690	387	409	394	367	宮崎 23%	
	18年	2,198	413	352	434	455	高知 14%	
	19年	2,224	357	347	346	381	鹿児島 7%	
	20年	2,215	451	417	410	515	(愛知産比率 -%)	
	5ヵ年平均	2,321	364	355	319	385	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	21年見通し	2,100	470	490	470	460		
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心で、西南暖地がそれに続く。茨城の生育は日照不足の影響から肥大がやや遅れている。宮崎を始めとする西南暖地の生育も順調で安定した入荷が見込まれる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>						
ばれいしよ	16年	9,478	152	173	155	132	北海道 57%	
	17年	7,973	164	135	164	189	鹿児島 34%	
	18年	9,293	140	136	142	142	長崎 7%	
	19年	9,251	127	129	125	128		
	20年	9,961	122	109	125	132		
	5ヵ年平均	9,191	140	136	142	145	(愛知産比率 -%)	
	21年見通し	9,600	130	130	130	120	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島からの入荷が本格化し、北海道の在庫ものは終盤となる。北海道の残量は前年より少ないが品質は良好である。鹿児島の生育は2月の高温から順調である。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						
たまねぎ	16年	14,228	93	105	98	79	佐賀 49%	
	17年	12,740	111	117	122	101	北海道 41%	
	18年	11,905	105	108	108	101	静岡 3%	
	19年	15,228	70	89	64	61	熊本 2%	
	20年	14,174	81	88	83	73	(愛知産比率 2%)	
	5ヵ年平均	13,655	91	101	95	83	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	21年見通し	14,000	80	100	80	80		
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>佐賀からの入荷が本格化する。佐賀の生育は天候不順の影響から遅れ気味であるが作型の前進化により入荷量は増加傾向。北海道は平年並みの入荷見込みである。入荷量は前年並で、価格も前年並みとなる見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
果	16年	16,065	276	300	286	249	19%	フィリッソ
	17年	14,952	298	367	283	284	19%	熊本
	18年	10,557	318	319	315	320	15%	青森
	19年	10,303	363	354	376	357	9%	三重
	20年	10,734	324	330	328	314	9%	(愛知産比率)
5ヵ年平均	12,522	311	-	-	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	10,500	320	-	-	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>いちご、晩柑類を中心に、メロン類、すいかなどの入荷が増加してくる時期となる。全体的に入荷は多くないが、消費が低迷しており、価格は期待できない。入荷量は少なかつた前年をさらに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>						
いちご	16年	1,800	600	620	558	634	61%	愛知
	17年	1,781	733	904	642	675	17%	熊本
	18年	1,424	764	690	752	930	7%	鹿児島
	19年	1,300	789	692	852	861	6%	三重
	20年	1,399	711	824	683	625	6%	(愛知産比率)
5ヵ年平均	1,541	713	-	-	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	1,300	750	700	750	780	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に、熊本、鹿児島、三重などから入荷する。谷間なく入荷するものの、ミツバチ不足により受粉が順調でなく、奇形果や変形果の懸念がある。作柄はよくない。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>						
アンデスメロン	16年	212	425	526	436	397	100%	熊本
	17年	73	554	668	534	541	-	(愛知産比率)
	18年	72	555	715	616	516	-	-
	19年	110	520	652	558	486	-	-
	20年	122	520	691	537	477	-	-
5ヵ年平均	118	494	-	-	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	120	500	700	500	450	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>ほぼ熊本からの入荷。4月下旬から5月上旬にかけてピークとなる。栽培方法の変化もあり、全体として大玉傾向。入荷量は前年並みで、価格は高かつた前年をやや下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
果	16年	37,744	324	333	340	304	17%	青森
	17年	35,116	301	329	320	259	15%	熊本
	18年	33,624	336	336	344	330	12%	愛媛
	19年	28,555	399	389	404	404	12%	フィリッソ
	20年	32,698	359	374	356	348	1%	(愛知産比率)
5ヵ年平均	33,547	344	-	-	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	30,000	370	-	-	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>中晩柑、いちご中心に入荷する。中晩柑類は貯蔵物の減価は遅れているが、入荷量は前年並と見込まれる。また、すいか類、メロン類の作付面積は減少しており、日照不足の影響から生育遅れているが、前月分が今月にずれ込み入荷量は前年並の見込み。総入荷量は少なかつた前年を下回り、価格は前年をやや上回ると見込まれる。</p>						
いちご	16年	5,973	668	658	642	723	31%	栃木
	17年	6,247	777	946	682	718	19%	福岡
	18年	5,582	784	728	796	868	13%	佐賀
	19年	4,680	797	731	832	860	11%	茨城
	20年	5,488	780	876	746	707	4%	(愛知産比率)
5ヵ年平均	5,594	761	-	-	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	5,300	780	800	780	770	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に福岡、佐賀から入荷する。生育は、各産地とも日照不足の影響から、不受精や小玉果の発生が多くなる見込み。入荷量は前年をやや下回ると見込まれ、価格は一部の品種に品薄感があるが、全体としては前年並と見込まれる。</p>						
アンデスメロン	16年	688	452	585	451	411	86%	熊本
	17年	339	579	603	570	575	13%	茨城
	18年	343	554	627	558	531	-	(愛知産比率)
	19年	413	533	640	563	480	-	-
	20年	334	524	676	586	454	-	-
5ヵ年平均	423	528	-	-	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	330	550	700	590	500	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本中心に入荷する。下旬から茨城が加わる。作付面積は各産地とも前年よりかなり減少している。冬の日照不足の影響から昨年より生育は1週間ほど遅れている。入荷量は前年並と見込まれ、価格は前年をやや上回ると見込まれる。</p>						

# 切花・鉢花の4月の見通し

切花（地方卸売市場 ヤマエ生花市場 3月24日現在）

3月24日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎく	実績	16年	818	53	
		17年	822	65	
		18年	742	51	
		19年	925	42	
20年		737	48		
5ヶ年平均		809	52		
21年見通し		800	47		
概要		愛知（渥美地区）を中心に、一部、沖縄、大分から入荷。3月の彼岸時は白ぎくが品薄であったが、4月には回復する。特に中旬以降は、近郊の産地を中心に増加する見込みで、月全体では前年を上回るであろう。需要も少ないことから、価格はやや苦しい展開。			
小ぎく	実績	16年	564	32	
		17年	423	39	
		18年	501	27	
		19年	520	25	
20年		624	21		
5ヶ年平均		526	28		
21年見通し		600	23		
概要		沖縄中心の入荷。3月（彼岸ごろ）から前進傾向が続いており、4月上旬までは少なめとなるが、中旬以降は回復に向かい、入荷量は増加するであろう。価格は、彼岸需要の反動で軟調な動きが予想され、苦しい。			
カーネーション	実績	16年	743	40	
		17年	680	37	
		18年	596	32	
		19年	565	41	
20年		609	37		
5ヶ年平均		639	37		
21年見通し		600	37		
概要		愛知、長野、和歌山を中心に入荷。3月下旬は谷間があったが、4月は大きな波もなく、安定した入荷が見込まれる。前半は、入学式・入社式等の需要により、ピンク系を中心に荷動きが良いが、後半は需要が少なく、やや苦しい展開となるであろう。			
かすみそう	実績	16年	161	55	
		17年	142	50	
		18年	141	44	
		19年	93	73	
20年		89	64		
5ヶ年平均		125	55		
21年見通し		85	65		
概要		和歌山、熊本、高知を中心に入荷。高温で前進したため、4月は前年を下回るであろう。品種は「ビッグミスター」から「アルタイル」へ移行する。価格は、前半は入学式・入社式等により堅調だが、後半は需要も減少し、苦しくなるであろう。			

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	16年	180	160	
		17年	151	190	
		18年	123	202	
		19年	135	216	
20年		149	179		
5ヶ年平均	148	187			
21年見通し	155	175			
概要	高知、愛知、岐阜を中心に入荷。オリエンタルは各産地とも生育順調で、3月の遅れから回復する。品種も色も豊富になり、バランスよく入荷する。てっぼうゆり、すかしゆりは入荷減少。価格は、前半は需要が多いことから荷動き良く堅調だが、後半はやや軟調。				
洋らん	実績	16年	260	74	
		17年	283	68	
		18年	207	79	
		19年	256	87	
20年		258	75		
5ヶ年平均	253	76			
21年見通し	255	75			
概要	高知、岐阜、静岡のほか、輸入ものも入荷。国内産のコショウランは、気温の上昇に伴い順調に入荷する。輸入ものは、オンシジウムは順調だが、デンファレは産地が雨季に入り入荷減少の見込み。価格は、前半は需要が多く堅調だが、後半は苦しい展開。				
ばら	実績	16年	491	51	
		17年	458	51	
		18年	365	60	
		19年	381	58	
20年		421	58		
5ヶ年平均	423	55			
21年見通し	420	55			
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に輸入ものも入荷。各産地とも生育順調。前半は少なめだが、後半は増加し、月全体では前年並みの入荷となるであろう。価格は、入学式・入社式等で需要の多い前半は堅調だが、後半はブライダル以外の需要が少なく、苦しい。				
枝もの	実績	16年	1,163	33	
		17年	1,130	32	
		18年	1,031	35	
		19年	1,056	36	
20年		997	35		
5ヶ年平均	1,075	34			
21年見通し	1,060	36			
概要	長野、静岡、愛知、岐阜等から入荷。春を迎え、芽吹きもの、山取りものが入荷するほか、4月後半には季咲きものが入荷する。入学式・入社式により、松や桜など大ぶりのものは引き合いが強くなる。後半は稽古も始まり、花材の動きも良くなる見込み。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラシ	実績	16年	51,609	557	
		17年	48,980	587	
		18年	35,268	540	
		19年	33,074	545	
		20年	26,966	556	
	5ヶ年平均	39,179	556		
21年見通し	24,000	540			
概要	<p>原油高騰の影響で、昨年に球根の発注をしておらず、生産量は減少。入荷は母の日が中心となるので、この月は若干少なめになりそう。昨年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(42%)、2位新潟・長野(20%)となっている。</p>				
ファレノプシス	実績	16年	57,761	2,505	
		17年	56,917	2,443	
		18年	41,075	2,844	
		19年	57,134	2,863	
		20年	49,679	2,444	
	5ヶ年平均	52,513	2,611		
21年見通し	50,000	2,200			
概要	<p>昨年同様、前半は大輪系、後半はミディー系を中心とした荷動きになるであろう。ただ、例年以上に買い控えが予想され、かなり厳しい動きとなりそうである。昨年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(58%)、2位福岡(12%)、3位熊本(6%)となっている。</p>				
ハイドランジア	実績	16年	98,410	560	
		17年	85,874	628	
		18年	73,291	631	
		19年	101,922	632	
		20年	91,276	659	
	5ヶ年平均	90,155	621		
21年見通し	92,000	650			
概要	<p>近年、目立った新品種はなかったが、関東のある生産者が大手製紙会社と提携・開発した品種が注目を集めそう。これを起爆剤として、ハイドランジア全体の底上げを期待したい。昨年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(75%)、2位群馬(7%)、3位埼玉(6%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
スパティフィラム	実績	16年	43,113	337	
		17年	44,849	308	
		18年	39,632	344	
		19年	40,473	303	
20年		42,136	332		
5ヶ年平均	42,041	325			
21年見通し	40,000	320			
概要	生産量の減少に伴い、入荷量も減少するものと思われる。堅い需要が見込まれる3号鉢に関して、下旬にスポット的に盛り上がる程度で、全体的には厳しそう。昨年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(42%)、2位愛知(34%)、3位岐阜(15%)となっている。				
バラ(ミニバラ)	実績	16年	123,550	252	
		17年	113,997	245	
		18年	91,707	230	
		19年	87,258	249	
20年		85,226	265		
5ヶ年平均	100,348	248			
21年見通し	87,000	250			
概要	暖冬の影響で精算が全体的に前倒しになり、入荷増となりそう。そのため、価格面ではかなり厳しい動きになりそうである。昨年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(61%)、2位岐阜(17%)、3位三重(10%)となっている。				
カーネーション	実績	16年	177,516	274	
		17年	142,042	335	
		18年	38,742	303	
		19年	120,102	292	
20年		85,194	288		
5ヶ年平均	112,719	298			
21年見通し	90,000	280			
概要	「ミソ」をはじめとする新品種に注目が集まり、全体としては下旬頃から需要が活発になりそう。4号鉢の生産量増加に伴い、入荷量も増加か。昨年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(51%)、2位茨城(13%)、3位岐阜(7%)となっている。				

主要農林水産物の輸出入実績 (2009年)

1 輸入実績

品名	1 月						1 月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	42,367	95.2	3,901,060	79.7	92	83.6	42,367	95	3,901,060	80	92	83.6
トマト	98	63.0	27,334	47.7	279	75.7	98	63	27,334	48	279	75.7
たまねぎ	13,134	81.6	488,413	90.5	37	110.8	13,134	82	488,413	90	37	110.8
にんにく	1,854	106.2	152,378	86.5	82	81.5	1,854	106	152,378	87	82	81.5
ねぎ	2,122	66.5	175,786	49.1	83	73.8	2,122	67	175,786	49	83	73.8
ブロッコリー	1,063	68.2	198,017	71.7	186	105.1	1,063	68	198,017	72	186	105.1
結球キャベツ	2,212	561.2	68,002	422.1	31	75.2	2,212	561	68,002	422	31	75.2
にんじん・かぶ	1,582	104.5	59,837	66.6	38	63.7	1,582	105	59,837	67	38	63.7
ごぼう	3,213	92.4	104,805	77.1	33	83.5	3,213	92	104,805	77	33	83.5
えんどう	72	37.0	15,845	45.5	221	123.2	72	37	15,845	46	221	123.2
アスパラガス	814	94.7	499,757	84.9	614	89.7	814	95	499,757	85	614	89.7
まつたけ	-	-	470	-	5,732	-	0	-	470	-	5,732	-
しいたけ	554	67.7	122,257	62.9	221	93.0	554	68	122,257	63	221	93.0
かぼちゃ	11,956	115.8	744,924	75.8	62	65.4	11,956	116	744,924	76	62	65.4
果実(生鮮・乾燥)	140,007	122.0	13,517,563	99.7	97	81.8	140,007	122	13,517,563	100	97	81.8
バナナ	94,037	144.4	6,204,173	168.7	66	116.8	94,037	144	6,204,173	169	66	116.8
パイナップル	9,337	103.1	537,201	101.2	58	98.2	9,337	103	537,201	101	58	98.2
レモン	3,852	105.0	454,915	56.7	118	53.9	3,852	105	454,915	57	118	53.9
オレンジ	7,082	124.9	726,454	123.0	103	98.5	7,082	125	726,454	123	103	98.5
グレープフルーツ	12,313	74.0	1,223,646	64.7	99	87.5	12,313	74	1,223,646	65	99	87.5
メロン	2,123	85.9	241,398	80.9	114	94.1	2,123	86	241,398	81	114	94.1
ぶどう	355	1051.1	74,073	382.2	208	36.4	355	1,051	74,073	382	208	36.4
キウイ	23	184.4	5,929	196.5	262	106.6	23	184	5,929	197	262	106.6
いちご	8	71.5	5,901	54.4	735	76.1	8	72	5,901	54	735	76.1
切花(生鮮・乾燥)	2,306	94.8	1,773,907	85.2	769	89.8	2,306	95	1,773,907	85	769	89.8
鳥獣肉類	137,548	110.1	60,428,187	106.1	439	96.4	137,548	110	60,428,187	106	439	96.4
牛肉(くず肉含む)	36,668	137.7	13,393,521	103.6	365	75.3	36,668	138	13,393,521	104	365	75.3
豚肉(くず肉含む)	61,365	103.8	32,144,973	103.2	524	99.5	61,365	104	32,144,973	103	524	99.5
鶏肉	31,188	93.3	10,436,345	121.0	335	129.6	31,188	93	10,436,345	121	335	129.6
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	158,049	94.0	76,167,367	90.2	482	95.9	158,049	94	76,167,367	90	482	95.9
まぐろ類	16,172	96.1	12,248,839	80.7	757	83.9	16,172	96	12,248,839	81	757	83.9
さば・さんま・あじ・いわし	27,632	102.4	5,466,430	98.4	198	96.1	27,632	102	5,466,430	98	198	96.1

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	3,779	54.8	991,719	42.6	262	77.7	3,779	55	991,719	43	262	77.7
うんしゅうみかん	64	62.9	41,244	101.3	645	161.2	64	63	41,244	101	645	161.2
りんご	3,605	54.4	848,901	39.5	235	72.6	3,605	54	848,901	39	235	72.6
なし	9	24.8	4,640	24.3	510	97.9	9	25	4,640	24	510	97.9
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	187,656	52.7	-	-	-	-	187,656	53	-	-
緑茶	120	134.4	213,957	119.1	1,789	88.6	120	134	213,957	119	1,789	88.6

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

# 関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数				
		全国 平成17年 = 100				
		愛知県 平成17年 = 100				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	18年平均	100.3	105.8	104.0	100.8	102.2
	19年平均	100.3	103.1	109.3	102.7	103.1
	20年11月	101.7	101.8	98.6	107.4	106.2
	12月	101.3	105.8	100.7	106.8	106.0
	21年 1月	100.7	109.0	104.6	106.9	106.5
愛 知 県	18年平均	100.2	103.9	102.5	99.8	103.9
	19年平均	100.5	100.3	111.1	100.7	103.5
	20年11月	102.1	99.7	97.5	105.2	104.7
	12月	101.8	101.4	98.0	104.9	104.7
	21年 1月	101.3	104.1	103.5	104.7	103.8

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
18年平均	18年平均	102.9	97.8	108.2	120.6	99.0
	19年平均	97.6	95.0	100.6	110.1	99.5
	20年10月	98.2	96.3	109.7	90.1	100.8
	11月	100.9	96.9	107.3	122.1	98.0
	12月	101.3	97.4	110.2	120.5	99.5
21年 1月	98.9	98.6	110.0	99.1	95.2	

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一罐、 「コヒカ 」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
17年平均	2,293	170	165	586	397	304	151	340	217	522	636	178	521
18年平均	2,256	174	184	606	426	278	161	359	217	538	630	193	502
19年平均	2,229	147	153	589	440	269	137	295	203	530	629	206	535
20年11月	2,183	160	142	582	437	257	128	272	194	803	678	207	453
12月	2,208	186	132	578	545	259	137	279	184	664	699	201	428
21年 1月	2,208	188	136	613	626	266	119	273	190	642	628	226	409
品目 単位 年月	みかん	グレフ イル プ イツ	オレ ンジ	いちご	バナ ナ	キ ウ イル イツ	緑(せ 茶ん 茶)	カ ー ネ シ ョ ン	き く	パ ラ	豚(口 肉 ス)	牛(口 肉 ス)	ま ぐ ろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g					
17年平均	548	291	362	156	240	723	618	155	171	306	234	792	480
18年平均	546	354	404	153	245	686	609	159	168	312	233	793	497
19年平均	689	356	509	165	258	705	602	163	170	315	221	776	506
20年11月	465	366	408	-	279	675	610	159	172	326	236	837	484
12月	468	364	413	173	260	669	615	162	174	351	229	828	472
21年 1月	554	346	389	150	256	669	610	162	166	335	228	791	485

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 430  
平成21年4月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6417